

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)

【公開番号】特開 2010-283606 (P2010-283606A)
 【公開日】平成 22 年 12 月 16 日 (2010.12.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-050
 【出願番号】特願 2009-135315 (P2009-135315)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 4 日 (2012.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エラーした保護対象データを訂正するために用いる訂正用データの生成装置であって、
 保護対象データを入力する入力手段と、

前記エラーした第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 1 の訂正用データを、
 前記第 1 の保護対象データと、当該第 1 の保護対象データの次の保護対象データよりも後の
 第 2 の保護対象データとを用いて生成すると共に、

前記エラーした前記第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 2 の訂正用データ
 を、前記第 2 の保護対象データを用いずに、前記第 1 の保護対象データと、前記第 2 の保
 護対象データよりも後の第 3 の保護対象データとを用いて生成する生成手段と

を有することを特徴とする訂正用データの生成装置。

【請求項 2】

前記入力された保護対象データと前記生成された訂正用データを受信装置に対して送信
 する送信手段

を有することを特徴とする請求項 1 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 3】

前記入力された保護対象データと前記生成された訂正用データを記録部に記録させる記
 録制御手段

を有することを特徴とする請求項 1 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 4】

前記生成手段は、

前記入力された保護対象データの個数に基づいて、前記第 1 の訂正用データを生成する
 ために用いる保護対象データの組み合わせを決定する

ことを特徴とする請求項 1 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 5】

前記生成手段は、

前記第 1 及び第 2 の保護対象データを含む複数の保護対象データを用いて前記第 1 の訂
 正用データを生成するとともに、前記第 1 及び第 3 の保護対象データを含む複数の保護対
 象データを用いて前記第 2 の訂正用データを生成し、

前記入力手段により入力された順番が N 個間隔の保護対象データを、前記第 1 及び第 2

の保護対象データを含む複数の保護対象データとして用いて、前記第 1 の訂正用データを生成するとともに、前記入力手段により入力された順番が M 個間隔の保護対象データを、前記第 1 及び第 3 の保護対象データを含む複数の保護対象データとして用いて、前記第 2 の訂正用データを生成する

ことを特徴とする請求項 1 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 6】

前記生成手段は、第 1 の個数の保護対象データが入力されたことに応じて、前記第 1 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、前記第 1 の保護対象データの N 個後の前記第 2 の保護対象データを用いて生成し、前記第 2 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、前記第 1 の保護対象データの M 個後の前記第 3 の保護対象データとを用いて生成する場合の前記 N と M の最小公倍数が前記第 1 の個数以上となるように、前記 M と N を決定する

ことを特徴とする請求項 1 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 7】

前記入力された保護対象データと前記生成された訂正用データを受信装置に対して送信する送信手段と、

前記受信装置から通信状況を示す通信状況情報を受信する受信手段とを有し、

前記生成手段は、前記通信状況情報によって示される通信状況に応じて、前記第 1 の訂正用データを生成するために前記第 1 の保護対象データと共に用いる保護対象データを決定する

ことを特徴とする請求項 1 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 8】

前記生成手段は、

前記受信装置が、第 1 の個数の連続する保護対象データの受信に失敗した場合、前記第 1 の訂正用データを生成するために用いる前記第 2 の保護対象データを、前記第 1 の保護対象データの N 個後の保護対象データとし、

前記受信装置が、前記第 1 の個数よりも多い第 2 の個数の連続する保護対象データの受信に失敗した場合、前記第 1 の訂正用データを生成するために用いる前記第 2 の保護対象データを、前記第 1 の保護対象データの N 個後の保護対象データよりも後の保護対象データとする

ことを特徴とする請求項 6 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 9】

前記生成手段は、前記入力された保護対象データの個数を素因数分解することによって得られた値に基づいて、前記第 1 の訂正用データを生成するために用いる保護対象データの組み合わせを決定する

ことを特徴とする請求項 1 記載の訂正用データの生成装置。

【請求項 10】

エラーした保護対象データを訂正するために用いる訂正用データの生成装置であって、保護対象データを入力する入力手段と、

前記エラーした第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 1 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、前記第 1 の保護対象データに連続する N 個の保護対象データを用いて生成すると共に、

前記エラーした前記第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 2 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、前記第 1 の保護対象データに連続する M 個の保護対象データを用いて生成する生成手段と

を有することを特徴とする訂正用データの生成装置。

【請求項 11】

エラーした保護対象データを訂正するために用いる訂正用データの生成装置が行う生成方法であって、

保護対象データを入力する入力工程と、

前記エラーした第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 1 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、当該第 1 の保護対象データの次の保護対象データよりも後の第 2 の保護対象データとを用いて生成すると共に、

前記エラーした前記第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 2 の訂正用データを、前記第 2 の保護対象データを用いずに、前記第 1 の保護対象データと、前記第 2 の保護対象データよりも後の第 3 の保護対象データとを用いて生成する生成工程とを有することを特徴とする訂正用データの生成方法。

【請求項 1 2】

前記生成工程は、

前記第 1 及び第 2 の保護対象データを含む複数の保護対象データを用いて前記第 1 の訂正用データを生成するとともに、前記第 1 及び第 3 の保護対象データを含む複数の保護対象データを用いて前記第 2 の訂正用データを生成し、

前記入力工程により入力された順番が N 個間隔の保護対象データを、前記第 1 及び第 2 の保護対象データを含む複数の保護対象データとして用いて、前記第 1 の訂正用データを生成するとともに、前記入力工程により入力された順番が M 個間隔の保護対象データを、前記第 1 及び第 3 の保護対象データを含む複数の保護対象データとして用いて、前記第 2 の訂正用データを生成する

ことを特徴とする請求項 1 1 記載の訂正用データの生成方法。

【請求項 1 3】

エラーした保護対象データを訂正するために用いる訂正用データを生成するコンピュータに、

保護対象データを入力する入力手順と、

前記エラーした第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 1 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、当該第 1 の保護対象データの次の保護対象データよりも後の第 2 の保護対象データとを用いて生成すると共に、

前記エラーした前記第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 2 の訂正用データを、前記第 2 の保護対象データを用いずに、前記第 1 の保護対象データと、前記第 2 の保護対象データよりも後の第 3 の保護対象データとを用いて生成する生成手順とを実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 1 4】

エラーした保護対象データを訂正するために用いる訂正用データの生成装置が行う生成方法であって、

保護対象データを入力する入力工程と、

前記エラーした第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 1 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、前記第 1 の保護対象データに連続する N 個の保護対象データを用いて生成すると共に、

前記エラーした前記第 1 の保護対象データを訂正するために用いる第 2 の訂正用データを、前記第 1 の保護対象データと、前記第 1 の保護対象データに連続する M 個の保護対象データを用いて生成する生成工程と

を有することを特徴とする訂正用データの生成方法。